

---

講演録

---

日時 平成14年3月5日(火)

場所 学習院大学 南2号館2階 200教室

第13回 特別研究・研究会

「ブロードバンド時代の次世代サービス」

(開会あいさつ、及び講師紹介)

お忙しいところをお集まりいただきまして、どうもありがとうございます。

私は計算機センターの入澤と申します。3月まで所長をやっております。最初から司会やなんやかや全部僕がやります。

計算機センターでは特別研究という研究プロジェクトがありまして、その一環といたしまして毎年研究会を開いて、皆さんに最新の情報化についてのトップの話をさせていただくという会を設けておりまして、今回で13回目になります。

今回は、去年ぐらいからなかなか賑やかしておりますブロードバンド、これはADSLなんか3000円弱で常時接続できるというようなことがあって、急激に各家庭でも常時接続という環境になってきた。じゃ、それでは何ができるの、というような話をさせていただきたいということで開きました。

私も多分2年ぐらい前に、実はケーブルテレビにつなげて家も常時接続です。学校にいるのと家にいるのと全く同じ環境で仕事ができる状況で、やっとうこういう時代になって、皆さんも同じようなことになっているのではないかと、在宅勤務ができればいいのかな、というようなことも思ったりもしております。

ということで、長々私が話しましてもしょうがございませんので、今日お話ししていただきますのは、推進のトップであるNTTの堺様に、「IP・ブロードバンド時代におけるNTT東日本の取り組み」ということで、どういう動向になっていくんだろうかということをお話させていただきます。休憩を取りまして、ソニーブロードバンドソリューション株式会社の斉藤様に、「ブロードバンドネットワークを活用したコミュニケーションスタイルの変革」というお話を後半させていただきたいと思います。

時間は、申し訳ないんですけども、1時間ぐらいを取っておりますが、皆様もディスカッションを少ししていただいたほうがありがたいと思ひまして、大体50分ぐらいお話しただいて、後半の10分間ぐらいはフリーに質疑応答をしていただきたいと思います。

それでは、早速ではございますが、堺様に、「IP・ブロードバンド時代におけるNTT東日本の取り組み」ということでお話し願えればと思ひます。